

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習		
科 目 名	理学療法治療学Ⅲ(末梢神経)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)		
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	901教室/機能訓練室		
担当教員	山田 一貫						
実務経験と その関連資格	理学療法士として大阪回生病院・みどりヶ丘病院に勤務。 急性期・回復期・訪問・外来リハビリテーションに従事。 認定理学療法士(脳卒中)、介護支援専門員(ケアマネ)、学術修士取得。 神経系学術発表多数。特にパーキンソン病関連の発表多数。						
《授業科目における学習内容》							
末梢神経筋疾患にかかる運動障害に対して理学療法(評価・運動療法・物理療法・徒手療法・ADL指導・生活環境支援等)を概説し、実習・演習を行いながら理学療法技術を説明する。							
《成績評価の方法と基準》							
定期テスト70%、小テスト30%の配分で成績評価を行う。小テストは各回合算し平均点を算出。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ(メジカルビュー社、2019.02)							
《授業外における学習方法》							
毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、授業使用教材を通して復習を推奨。							
《履修に当たっての留意点》							
実技練習の際は、指定された服装にて実施する。忘れた際は定期テスト減点とするので注意すること。 実習等でも中々出会いの少ない症例のため授業内に動画などを用いて説明する。							
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	末梢神経筋疾患の障害像について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	使用教材の構成を見て授業の進行を把握しておくこと			
	各コマに おける 授業予定	末梢神経筋疾患の障害像について説明する。					
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	筋ジストロフィー症の疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク			授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	筋ジストロフィー症の疾患の概要について説明する。					
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	筋ジストロフィー症のステージ分類ができるようになる。	プロジェクター ポインター マイク				
	各コマに おける 授業予定	筋ジストロフィー症のステージ分類について説明する。					
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	筋ジストロフィー症の理学療法について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと			
	各コマに おける 授業予定	筋ジストロフィー症の理学療法について説明する。					
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	筋ジストロフィー症の総論を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク			授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	筋ジストロフィー症の国家試験問題の解答を実施する。					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	多発性筋炎・皮膚筋炎の疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	多発性筋炎・皮膚筋炎の疾患の概要について説明する。		
第7回	授業を通じての到達目標	重症筋無力症の疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	重症筋無力症の疾患の概要について説明する。		
第8回	授業を通じての到達目標	重症筋無力症の総論を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	重症筋無力症の国家試験問題の解答を実施する。		
第9回	授業を通じての到達目標	ニューロパチーの疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	ニューロパチーの疾患の概要について説明する。		
第10回	授業を通じての到達目標	ギランバレー症候群の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	ギランバレー症候群の概要について説明する。		
第11回	授業を通じての到達目標	ギランバレー症候群の総論を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	ギランバレー症候群の国家試験問題の解答を実施する。		
第12回	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	末梢神経損傷の概要について説明する。		
第13回	授業を通じての到達目標	腕神経叢損傷の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	腕神経叢損傷の概要について説明する。		
第14回	授業を通じての到達目標	絞扼性末梢神経損傷の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	絞扼性末梢神経損傷の概要について説明する。		
第15回	授業を通じての到達目標	末梢神経筋疾患患者のリハビリテーションの考え方を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	復習および解説の補足等		